

豊見城警察署協議会 議事概要

開催年月日	令和元年12月3日（火）17：00～18：15	
開催場所	豊見城警察署	
出席者	協議会委員 (7名)	當間 勇、比嘉 由美、狩俣 稔、中村 靖、小嶺 保 赤嶺 朱美、前田 義仁
	警察署 (13名)	署長、副署長、刑事官、各課長等
議事概要	<p>1 会長挨拶 2 署長挨拶 3 協議</p> <p>(1) 第1回警察署協議会において提出された意見提言等に対する警察からの回答</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 管内の幼稚園・小学校前交差点における横断歩道の設置について</p> <p>警察： 幼稚園・小学校前交差点における横断歩道の設置状況について、本年8月28日に、豊見城市の教育委員会や学校関係者等と合同で点検を行い、9月には、那覇市小禄地区においても担当者との合同点検を実施した。</p> <p style="margin-left: 20px;">また、未就学児童（保育園及び幼稚園児）が集団で移動する経路についても、豊見城市、那覇市小禄地区ともに、園の関係者と合同で緊急点検を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">それら各点検の実施結果を元に、横断歩道の設置を要する箇所について検討した結果、設置の必要性及び設置要件に該当する箇所はなかったものの、横断歩道の表示が消えたり、薄くなっている箇所が散見されたことから、道路管理者へ対応を要請した。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 管内にある病院付近における歩行者の安全確保について</p> <p>警察： 管内にある病院付近において、多くの児童生徒が車道を横断しており大変危険であるとの意見を受け、道路管理者（南部土木事務所）に対し、その旨を伝えたところ、担当者から、「住民からの意見要望でも、予算を伴う案件については、年度予算を請求し、対応することになるから、即座に対応することは困難である」との回答であった。</p> <p style="margin-left: 20px;">そこで、当署では、交通課及び地域課で情報を共有し、付近の警らや交通安全教育を行うなどして、児童生徒等の安全対策を講じている。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 管内にあるレンタカー会社の迷惑駐車について</p> <p>警察： 管内にあるレンタカー会社が、公共のバス停近くでレンタカーを駐車し、洗車していることに関する苦情について、本年8月9日に、同レンタカー業者の代表者に対し、改善が見られなければ検挙措置講ずる旨の厳重注意を行った。</p> <p style="margin-left: 20px;">その結果、一定の改善が認められ、地域住民からの苦情もなくなっている。レンタカーに関する同様の駐車問題等はいくつものことから、交通課と地域課で情報を共有し、苦情、要望があった</p>	

議事概要

際には迅速に対処していく。

(2) 災害対策について。

委員： 私は、自治会の災害対策官に指定されており、県や市と協力して活動している。

また、小学生の時には、津波による災害も経験していることから、その経験を生かし、地域住民に対して災害講話を行っている。

豊崎地区等の埋立地では、地震や津波によって液状化現象が発生することが予想されることから、こまめに避難訓練等を実施する必要があると思う。

委員： 私も、1960年に発生したチリ地震による津波災害を経験した。

私の会社事務所は豊崎地区にあり、津波発生時には高いマンション等に避難するように言われているが、ほとんどのマンションには、入口にオートロックが付いていることから、避難時にどうやって入っていいのかわからない。災害時の対処について、何か取決めなどはされているのか。

委員： 津波発生時には、高層住宅に逃げるようにと指示されているが、高層住宅の住人には、津波が発生した際に、付近住民が避難してくることにについて周知されているのか。

委員： 私は、マンションの高層階に住んでいるが、地震や津波が発生した際に付近住人が避難してくることにについては、管理事務所等から聞いておらず、実際に逃げてきてもオートロックで中に入ることは難しいと思う。

また、豊見城市豊崎地区は新興住宅街で、県外等から移住してきている人も多いことから、災害に対する危機意識も低いと感じる。

委員： 私は、自治会長会や各地域での集会等で災害についての話をする機会があるが、自治会員や住民の防災意識は低いと感じている。

委員： 私が勤務している保育園では、避難訓練で、避難場所に指定されている小緑高校に向かったところ、園児を連れて避難するのに26分かかった。

また、当園では規定で定められた年12回の消防訓練の内、3回は自主的に地震津波に対する訓練も行っているが、液状化現象などの話を聞くと、もっと、避難の方法などを考える必要があると思った。

委員： 先日、那覇マラソンの後に、自治会で防災訓練と炊き出し訓練を行った。

委員： 那覇市は、港から国道58号線までの地域において、地震津波から耐えられるような道路を整備し災害に備えている。

豊見城市には、そのような整備がされた道路がないため、自治会から豊見城市へ要望している。

委員： 県レンタカー協会では、災害時に電気自動車等を使用して電気を確保することへの協力について沖縄県と締結した。

委員： 先日、聴講した災害に関する講演会で、講演者は、災害が発生した際には、まず自分で自分の安全を考えることからしなければならないと話していた。

豊見城市豊崎や那覇市鏡原の両地区は埋立て地で、他の委員の話にもあったような液状化現象等が発生すれば危険だと感じた。災害が発生した際に、そのような地区に居住する老人や子供を、どのように避難させるべきか、各自治会で話し合いを持つ

ように促していきたい。

警察： 警察は、地域住民の安全と安心を守るため、普段から災害に備えることが大事だと考え、災害発生に備えた避難訓練等の活動を実施している。

また、地域住民の方々にも、災害に関して危機意識を持っていただくために広報活動も実施している。

委員： 今回の協議会を通して、普段から災害に対する危機感を持つことが大切だと改めて感じた。

小祿、豊見城地区は海拔が低く、決して安心できる場所ではないため、自治会における訓練や災害に関する情報の発信などを推進し、災害に対する危機意識を高める活動をしていきたい。

以 上